



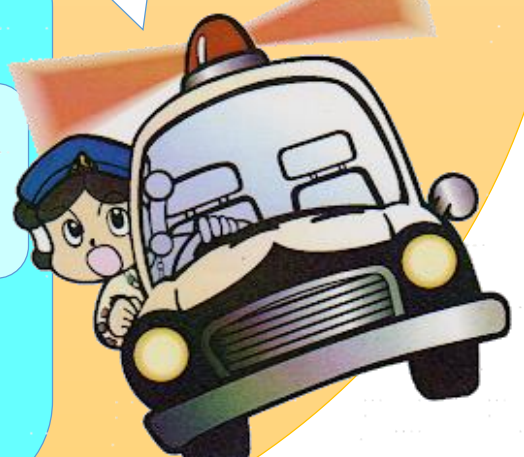
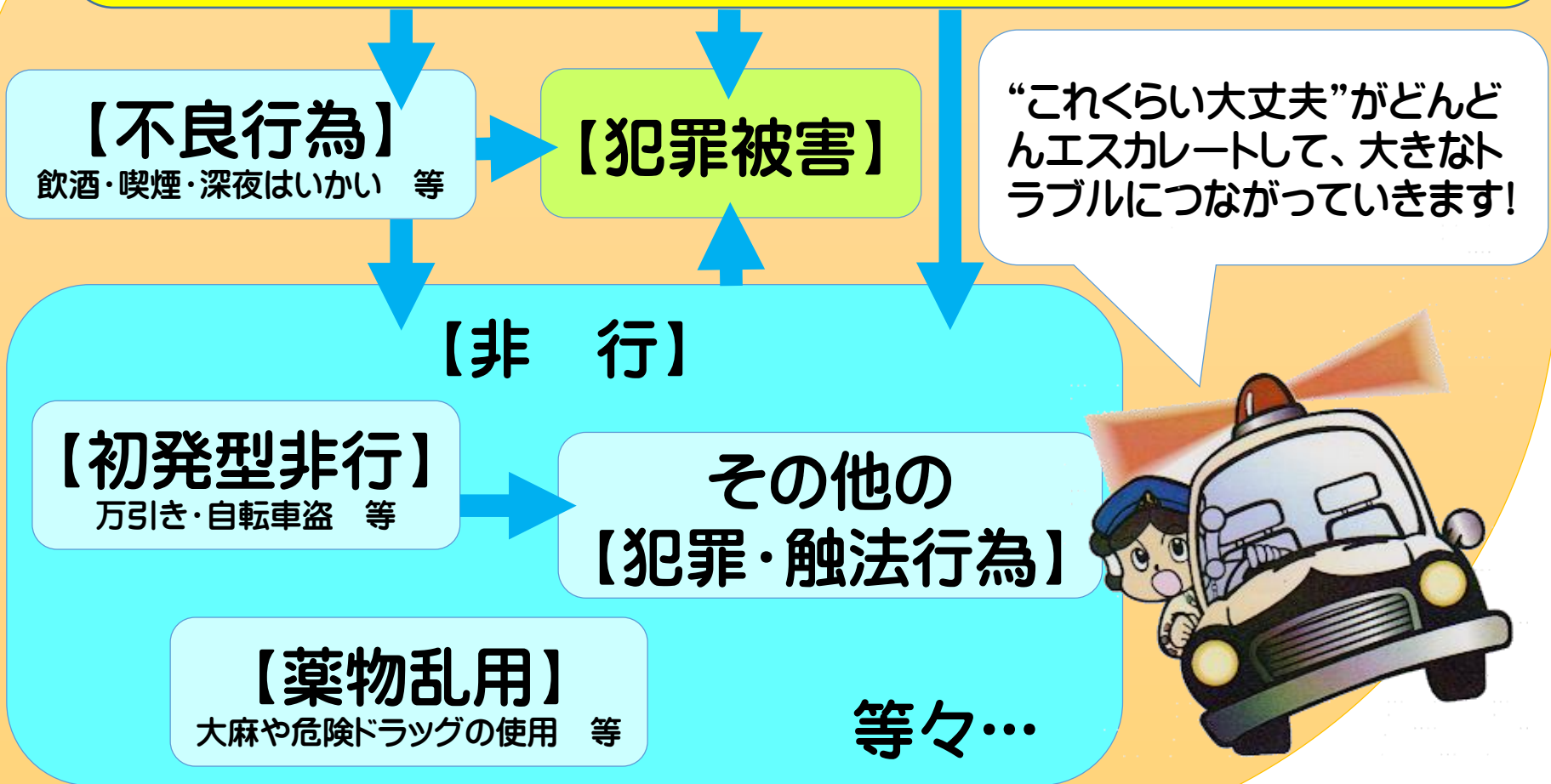
宮崎県警察本部少年課だより～いのち・じんけん・かのうせい～

保護者のみなさん・学校の先生方へ
もうすぐ冬休みがやってきます。子供たちが**安心・安全な冬休み**をすごせるよう、子供たちを守る立場として注意すべき点をまとめました。このリーフレットに書かれていることについて、ぜひ、お子さん(児童生徒)と話し合ってみてください。

◎ 冬休みに注意することⅠ～夜間や早朝に注意～

冬休みになると、クリスマスや初詣、初日の出など、楽しい行事が目白押しになる一方で、そのような行事がきっかけになり、トラブルが多く発生する時期でもあります。

～夜間や早朝に子供だけで行動すると以下のような**リスク(危険性)**が…～



◎ 冬休みに注意することⅡ～交通事故に注意～

年末年始になると交通量も増え、交通事故のリスクが高まります。

～全員がルールを守り、**安全な交通行動**をとることで、交通安全が実現します～

【ルールを守れていますか？】

- 横断歩道外横断の禁止
- 車両直前直後横断の禁止
- “ながらスマホ”は禁止
- 自転車の併進は禁止

【安全な交通行動ですか？】

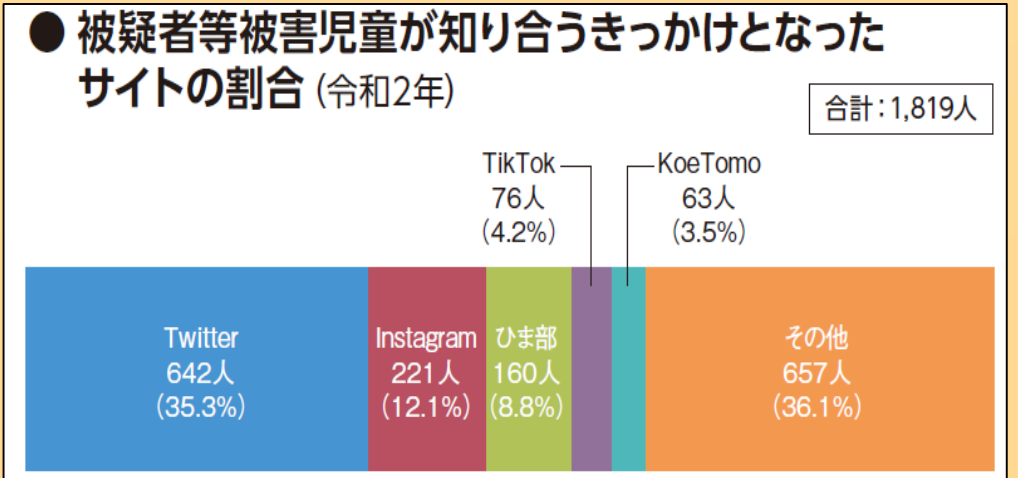
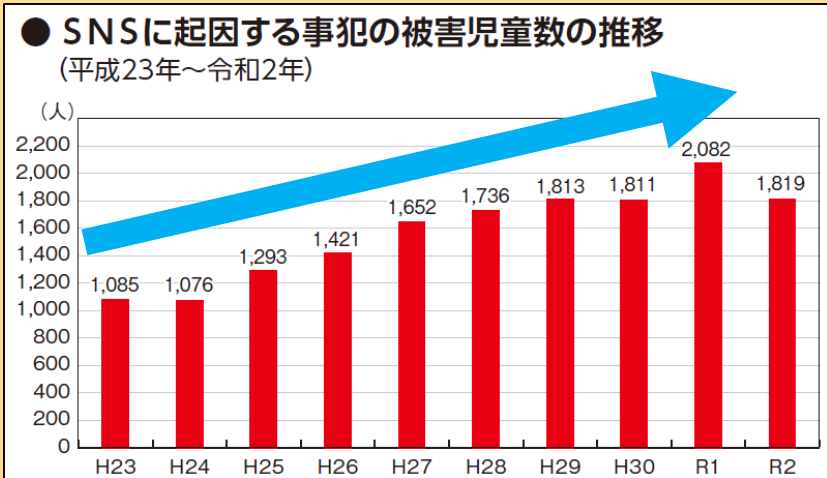
- 横断前に手を挙げて意思表示
- 青信号でも車の停止を確認して横断
- 横断中でも左右確認
- 一旦停止の標識を確認して停止

◎ 冬休みに注意することⅢ～インターネット・SNSに注意～

冬休みになると、子供たちのスマートフォン等を使う時間が増えます。インターネットやSNSは、便利で楽しいものですが、同時に様々なリスク(危険性)があります。

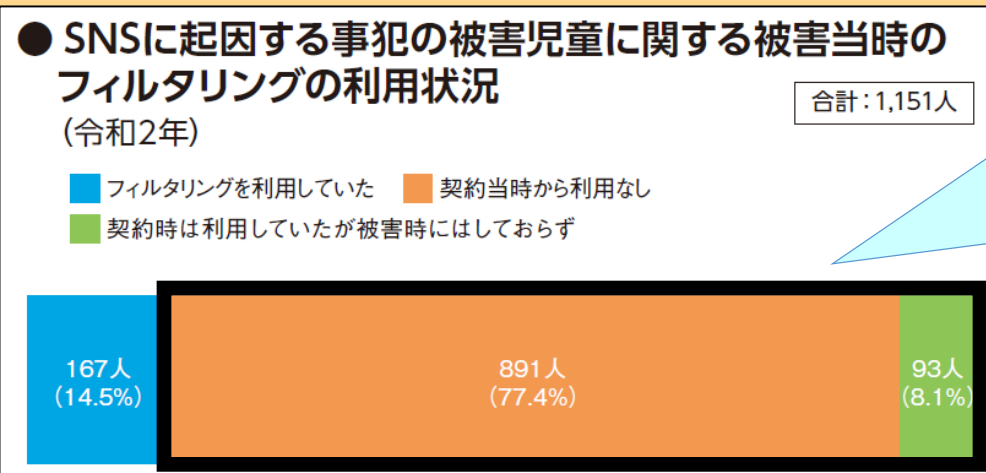
～「インターネット・SNS利用に起因する犯罪」の被害・加害を防ぐために～

※ “児童”：18歳未満の者を指す ※ 数値は、全国のデータ(令和2年まで)



○ SNSをきっかけとして性被害にあった児童数は、増加傾向です。この10年で、2倍近くに増えています。

○ 被疑者は、有名なSNSアプリを利用して、児童と簡単に連絡をとっていることがわかります。



○ 被害児童の85%以上が、被害時にフィルタリングを利用していませんでした。

○ 今年度の保護者抽出調査でも、宮崎県内の小中高生の約50%がフィルタリングを使用していないということがわかりました。

○ フィルタリング導入により、被害にあうリスク(危険性)を大きく低下させることができます。

『少年からのシグナル(令和3年 警察庁)』より

冬休みに入るこの機会に次のことを親子で一緒に確認してみましょう!!

- “フィルタリング”(有害なサイト・情報にアクセスできない機能)を導入しているかどうか
- 以下のような内容について、現在守れているかどうか

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 利用時間や利用料金を決める。 | <input type="checkbox"/> ダウンロードするアプリは保護者に事前に確認する。 |
| <input type="checkbox"/> 氏名等の情報や写真など個人を特定される情報を書き込まない。 | <input type="checkbox"/> 保護者や他人のID・パスワードを勝手に使わない。 |
| <input type="checkbox"/> 知らない人と電話やメールの交換をしたり、会ったりしない。 | <input type="checkbox"/> 下着姿や裸の写真は撮らない、撮らせない。 |
| <input type="checkbox"/> 困ったことがあれば、必ずすぐに保護者に相談する。 | <input type="checkbox"/> 「家庭内ルール」を守れなかった時のルールを決める。 |



← ぜひお子さんと一緒にご覧ください!!

- 普段の生活や冬休みに注意してほしいこと
- 子供を守る大人(保護者・教職員)として、注意するポイント等が「健全育成ハンドブック」として、さらにくわしくまとめられています